



たづがね

(鶴が音)

令和7年度
こころのよさ・げんきさ
心の強さ
元気さ

「笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい」の西北台っ子



自己指導能力を試す夏休みに

1学期も無事に終了できそうです。保護者・地域・関係諸機関の皆様ありがとうございました。

さて、「自己指導能力」と聞き慣れない言葉を見出しにしてみました。大人ならだいたいこういうことかな、とイメージできる言葉ではないでしょうか。この「自己指導能力」は文部科学省から出されている※【生徒指導提要（令和4年12月改訂）】の第1章「生徒指導の基礎」で出てくる言葉です。

※「生徒指導提要」とは、小学校段階から高等学校段階までの生徒指導の理論・考え方や実際の指導方法等について、時代の変化に即して網羅的にまとめ、生徒指導の実践に際し教職員間や学校間で共通理解を図り、組織的・体系的な取組を進めることができます。生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書として作成したものです。

ではよく耳にする「生徒指導」という言葉には、皆さんどんなイメージがありますか。「注意される、叱られる」のようなマイナスなイメージをおもちの方もいるかもしれませんね。しかし、この生徒指導の定義と目的は次のように生徒指導提要に書かれています。

定義：「生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて指導や援助を行う。」

目的：「生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とする。」

このように、児童生徒が将来自己を理解した上で自分らしくウェルビーイングを求めて社会で生きていくための素養を獲得させるためのもの、としていることが分かります。

またそのためには、児童生徒一人一人が自己指導能力を身に付けることが重要で、児童生徒が、深い自己理解に基づき、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標の達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力、すなわち、「自己指導能力」を獲得することが目指される、とも書かれています。

子どもはまだまだ未熟な面がたくさんあります。ですがこれまでの生活経験・体験・学習によって、既に獲得している、獲得できそうなところまでできている部分もあると考えています。

そう考えると、この44日間ある夏休みでどんな部分の自己指導能力が獲得できているかを試せるとても良い機会ではないでしょうか。

ぜひこの長い夏休みを自分の能力を試す良い機会と捉え、自分で目標を決めて、自分で時間の使い方を考えて、有意義な時間を過ごすことにチャレンジをしてほしいです。西北台小学校との最後の夏休み、自己決定し、目標を達成させて、自己肯定感を向上させましょう！保護者の皆様、ご協力のほどよろしくお願ひします。

あいり先生ありがとうございました♥



文後先生が育児休暇中のこの1学期、卒業してすぐの泉愛莉（いずみ あいり）先生が保健室の先生として子ども達にたくさんの支援・指導をしてくださいました。社会人1年生で不安もあったことと思いますが、明るく笑顔がいっぱいの素敵なお姉さん先生でした。

毎朝・昼と校内外の気温や湿度、暑さ指数を計測し、子ども達に伝えてくださいました。おかげでこの暑い日々でも体調を崩す子どもはほとんどいませんでした。また、プール学習の祭は、学年問わず全ての時間にプールサイドで子ども達を見守ってくださいました。心から感謝します。

次の職場でも健康に留意され、本校での経験を生かして子ども達を見守ってくださいね。